すでにホームページ掲載されているものは、原則として変更しません。追加、修正するもののみ記載してください。

研究業績記載例と基準

データの追加・変更がない場合でも「変更なし」として必ずご提出ください

セルが赤くなっている項目は入力の内容に間違いがある項目です。

◇ 記載例、基準 ◇

記載例

所属	リストから選択してください		教職員番号	入力してください	氏名	入力してください				研究業績の変更の有無 リストから選択してください
研究業績項目	Ⓐ業績区分	Ⓑ業績区分詳細	Ⓒ著書・学術論文等の名称	Ⓓ発行所・発表雑誌等又は発表学会等の名称及び巻・号数等の名称	Ⓔ発行又は発表の年月（西暦）	Ⓕ単・共の別	Ⓖ編者・著者名（共著の場合のみ記入）	Ⓗ掲載ページ	Ⓘ査読の有無	Ⓙ概要 ※全角470文字以内
1	1. 著書	著書	○○○	○×出版	2013/12	共（共著、共同等）	□□□□	全324 頁 30-45 頁 pp. 30-45	無	本書は、○ ○ と×× との関係を示したものである。
2	2. 学術論文	学術論文	△△△	『文學論叢』第＊輯 愛知大学文学会	2014/2	単（単著、単独等）		全203 頁	有	○ ○ と×× との関係を示したもの。
3	4. その他	翻訳	・・・，＊＊＊，	『＊＊』第54巻2号 ＊＊学会	2013/4	単（単著、単独等）		1-12 頁	無	
4	4. その他	解説	＊ ＊ ＊ ＊ 紹介	『××』平成24年7月号 ○○社	2013/6	単（単著、単独等）		24-55 頁	無	
5	5. 学会等発表	学会発表	○ ○ ○ と △ △ △	第＊回日本××学会 愛知大学車道校舎	2013/11	共（共著、共同等）	○○○ ○、 □□□ □、 ▽▽▽▽			

基準

	表記方法	摘要（記載基準）※470 文字以内
1	Ⓒに書名、Ⓓに発行所等を記入の上、Ⓕに「単（独）、共（同）」のいずれかを記入。共著の場合は、Ⓖに共著者名**（第一著者を最初に）**を記入。**①に査読の有無を記入。**	学術書、その他大学院生・大学生対象の教科書向けに執筆した専門分野の図書、学術書には該当しないが自己の専門分野もしくはその関連分野において執筆した図書等で単独執筆したもの、あるいは編・著書として執筆にかかわったもの。論文集等の部分執筆は除く。
2	学術論文が該当する。Ⓕに「単（独）、共（同）」のいずれかを記入。共著の場合は、Ⓖに共著者名（第一著者を最初に）を記入。**①に査読の有無を記入。**	**学術論文のみ**
3	Ⓐ1.～2.のいずれにも該当しない業績は「その他」とする。Ⓕに「単（独）、共（同）」のいずれかを記入。**①に査読の有無を記入。**	Ⓑに「翻訳」と記入。Ⓒに翻訳原典を記入。	専門学術書、その他の書物及び論文・学術講演の翻訳（著書は『』で、論文は「」で表示し、区分）。
4		Ⓑに「研究ノート、解説、書評、随筆」など適宜詳細を記入。	専門学術的な立場からの研究ノート、書評、学会展望、判例研究、史料紹介、解説、研究情報、辞書、事典等及び専門分野以外の著作。
5	学会発表、研究会発表等が該当する。Ⓑに適宜詳細を記入、Ⓒに学会発表テーマを記入の上、Ⓕに「単（独）、共（同）」のいずれかを記入。共同の場合は、Ⓖに共同発表者名を記入。**講演はここには含まず、社会貢献活動に記入。**	学会及び各種学術研究会での発表（ただし、アブストラクトなどの発表記録があるものに限る）。

・ホームページには上記Ⓐ～Ⓕのデータを掲載しますが、Ⓖ～Ⓙのデータについても作成してください。
・Ⓔ「発表又は発行年月」欄は西暦とし、「2013 年6 月」の場合は、「2013/6」としてください。

教育業績記載例

すでにホームページ掲載されているものは、原則として変更しません。追加、修正するもののみ記載してください。

データの追加・変更がない場合でも「変更なし」として必ずご提出ください

セルが赤くなっている項目は入力の内容に間違いがある項目です。

全件公開の可否を選択できます。個別の公開の可否は選択できま

所属	リストから選択してください	教職員番号	入力してください	氏名	入力してください

教育業績の変更の有無：　リストから選択してください

公式HPへの公開（選択）　1.公開する　リストから選択してください

教育業績	Ⓐ教育実践上の主な項目	Ⓑ主な実績	Ⓒ年月(自):西暦	Ⓓ年月(至):西暦	Ⓔ概要 ※全角470文字以内
1	1.教育内容・方法の工夫	Web を利用した教員・学生相互の情報交換の実施	2010/6	9999/12	質問用掲示板、授業内容の告知や時間外でも随時議論が続けられるためにSNS（ソーシャルネットワーキングサイト）やBBS（Bulletin Board System）やメーリングリストを活用。
2	1.教育内容・方法の工夫	シラバスの充実	2011/4	9999/12	同系科目における担当者間のシラバス表記を統一化する。
3	1.教育内容・方法の工夫	同系科目における担当者間の成績評価法の統一化	2011/4		特に語学系科目の担当者間で教育内容を検討し、試験を統一化したり、担当者による評価の偏りを解消するよう努める。
4	1.教育内容・方法の工夫	語学系科目における工夫	2010/4	9999/12	語学検定試験対策コーナーの設置、語学合宿の実施。 授業を全部英語で実施。
5	1.教育内容・方法の工夫	実習におけるグループワーク学習の導入	2011/9	9999/12	グループワークによる相互学習により問題発見・課題解決能力の育成をはかり、学生相互評価を行うことで、技能向上を図る。
6	1.教育内容・方法の工夫	外部講師招聘	2010/7		○○○論において外部講師を招聘し、××の実情を学生に伝えることができた。
7	2.作成した教科書、教材、参考書	ビデオ教材作成	2010/10		講義用教材
8	2.作成した教科書、教材、参考書	パワーポイント教材作成	2010/4	9999/12	講義用教材
9	2.作成した教科書、教材、参考書	情報系科目の検索演習用Web ページの構築	2010/6	9999/12	講義用教材
10	3発表、講演等		2011/11		英語コミュニケーションの重要性を説きながら、学生対象に身近な英語学習を紹介。
11	3発表、講演等		2011/6		学部・学科・専攻の教育内容の実際について、主に父兄を対象に紹介。
12	3発表、講演等		2010/6		
13	4.その他特記事項		2010/9		
14	4.その他特記事項		2011/4	9999/12	学部FD 委員、学生相談員、学部入学前教育プロジェクトメンバー、現地インターンシップ委員会の設置と実施。
15	4.その他特記事項		2010/4	9999/12	

「現在に至る」場合は、**9999/12** を入力してください

Ⓐ教育実践上の主な項目	ホームページ上の掲載項目名
1.教育内容・方法の工夫　：	1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）
2.作成した教科書、教材、参考書：	2. 作成した教科書、教材、参考書
3発表、講演等	3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等
4.その他特記事項	4. その他教育活動上特記すべき事項

社会貢献等（社会における主な活動）記載例

すでにホームページ掲載されているものは、原則として変更しません。追加、修正するもののみ記載してください。

セルが赤くなっている項目は入力の内容に間違いがある項目です。

1件1件について公開の可否を入力してください。

データの追加・変更がない場合でも「変更なし」として必ずご提出ください

社会貢献等の変更の有無：　リストから選択してください

	所属	リストから選択してくださ	教職員番号	入力してください	氏名	入力してください	
項目	Ⓐ学外機関役職・講演・その他の区分	Ⓑ活動の内容、役職名称	Ⓒ機関名称	Ⓔ年月（自）	Ⓕ年月（至）	①概要 ※全角470文字以内	公開可否
1	1.学外機関役職	○○委員	○○県○○協議会	2010/12	2012/3		1.公開
2	1.学外機関役職	理事	（社）日本○○連盟	2004/4	2010/3		1.公開
3	1.学外機関役職	評議員	（財）○○○協会	2011/10	2015/2		1.公開
4	1.学外機関役職	理事	○○学会	2009/4	2011/3		1.公開
5	2.講演	△△産業に対する△△問題の影響について	△△市民大学 △△市公民館	2008/7			1.公開
6	2.講演	△△△における日中関係	△△職員に対する研修会	2008/12			1.公開
7	2.講演	中国における△△について	愛知大学後援会△△支部総会	2009/7		中国における○○と××との関係について講演を行った。	2.非公開
8	2.講演	△△に対する日中の違い	愛知大学言語学談話会公開講座	2009/9			2.非公開
9	3.その他	□□□産業の行方	『朝日新聞』12 頁	2010/7			1.公開